



サイズ (原寸大)
たて 約14cm × よこ 約8.5cm
厚さ 約1cm

●月間スケジュール

2024年 (令和6年) 1月 (暦月・JANUARY)		行事予定表
1	月 元 日	16 火 やぶ入り
2	火 赤口	17 水 (防災とボランティアの日)
3	水 先勝	18 木 土 用
4	木 水 官庁初日	19 金 寒 引
5	金 仏滅	20 土 大 寒
6	土 小 寒	21 日 日
7	日 七 草	22 月 仏滅
8	月 赤口	23 火 大 寒
9	火 成人の日	24 水 赤口
10	水 110番の日	25 木 寒 引
11	木 先勝	26 金 (文化財防火デー)
12	金 赤口	27 土 田舎制定記念日
13	土 寒 引	28 日 大 寒
14	日 先勝	29 月 赤口
15	月 仏滅 (防災とボランティア週間) (15日~21日)	30 火 先勝
		31 水 寒 引

●週間スケジュール (過去の大災害情報記載)

1	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日

1月 成人の日 [長崎県大村市・認知症高齢者グループホーム 火災] 平成18年。

川崎市・金井ビル火災 昭和41年。[平成18年豪雪] 平成18年。

東京都・大島町火災 昭和40年。[青森県・三沢市大火] 昭和 41年。

[長崎県] 大正3年。[滋賀県・東洋ガラス(株)倉庫火災] 昭 和55年。

[三河地裁] 昭和20年。

[伊豆大島近海地震] 昭和53年。

●消防訓練礼式の基本動作

○停止間の動作

① 基本の姿勢

第14条

基本の姿勢は、得員の動作において基本となる姿勢であり、厳正かつ端正にして、しかも氣力が充実し、しなやかな等身にも適宜に応じ得られるものでなければならぬ。

■ 息は前方を面直し、動かさぬ。

■ 背を引く。

■ 肩はやや後ろに引き、一様になす。

■ 腕を垂らす。

■ 手のひらをももにつける。

■ 手のひらを後ろに置いて背を、足の指先と同時で着手の甲と指先を軽く握り、両肩幅を受容させる。

■ 脚はバンド中央に重ねて締む。(右は、手のひら側をわきむりやすくするために上腕を曲げる)

■ 手のひらを後ろに置いて背を、足の指先と同時で着手の甲と指先を軽く握り、両肩幅を受容させる。

② 休め

■ 休め姿勢の動作からひじを軽く伸ばし、肩が肘の垂る位置に下った状態から、(肘の)の姿勢となる。

③ 物品など所持の場合

◆ 整理休め

■ 基本の姿勢から「整理一歩め」の姿勢で、左足寄りの指先(指先)へ後脚に指先、膝を左右の足に平均にかける。(女性指先は指先寄り)

■ 整理に、手は後ろでバンド中央に重ねて締む。

■ 必ず軽く伸ばす。

■ 整理に、手は後ろでバンド中央に重ねて締む。

■ 整理している手を自然にたれたら、(バンドに重なる)。

■ 整理している手を自然にたれたら、(バンドに重なる)。

■ 整理している手を自然にたれたら、(バンドに重なる)。

●防災気象情報解説

防災気象情報解説

自然災害の軽減等のため、気象庁は各種防災気象情報を発表している(一部は関係機関と共同で発表)。全ての情報は気象庁ホームページ(https://www.jma.go.jp/)に掲載されており、パソコンやスマートフォン等で確認できる。また、一部の自治体等ではメール等の送付サービスで防災気象情報を発信している。

警戒レベルに対応した防災気象情報の掲載

自治体や気象庁等から発表される防災気象情報を用いて住民がとるべき行動を事前に判断しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明確にして防災気象情報が提供される。

多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されるため、避難が必要とされる警戒レベル4や高齢者の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくてもキキクル(危険度分布)や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をする必要がある。

気象等の特別警報・警報・注意報

大雨や暴風等の警報の発令はひとたび発生すると命に危険が及ぶおそれがあるため、警報は警報級の現象が長時間に予想される場合に発令。

種別	発令条件
大雨	大雨(土砂災害、浸水)、暴風、暴風警、大雪、波浪、高潮
暴風	暴風(土砂災害、浸水)、暴風、暴風警、大雪、波浪、高潮
大雪	大雪(土砂災害、浸水)、暴風、暴風警、大雪、波浪、高潮
高潮	高潮(土砂災害、浸水)、暴風、暴風警、大雪、波浪、高潮

■ 大雨特別警報…災害が発生または切迫していることを示す警報レベルに相当。何らかの災害がすでに発生している可能性が高くなる。

■ 高潮特別警報…高潮警報…地元自治体が発令する警報レベルに相当。危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当。

■ 大雨警報、洪水警報、高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い)に言及されているもの…地元自治体が高齢者等避難を促す目安となる情報。高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当。

■ 大雨注意報、洪水注意報、高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い)に言及されていないもの…避難行動の指針が必要とされる警戒レベル2。

警戒レベル(大雨・洪水警報の危険度分布)

■ 赤色(大雨) 浸水、洪水等の発生する危険度の高まりを5段階に色分けして地図表示した情報。常時10分間更新され、どこでも危険度が高まっているか一目で確認できる。なお、住民の自主的な避難の判断につながる。危険度の変化を速やかに知らせるスマートフォン等のサービスを複数の事業者が実施している。

例えば、洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)において「災害回避」(自)が出現した段階では、すでに危険な水により道路冠水等が発生して国外への避難が困難な状況となることが多い。中小河川の水位上昇は極めて危険なため、不安を覚悟して逃げ遅れることのないよう、遅くとも「危険」(黄)が出現した時点で、自治体や防災メッセ等で河川の現在地確認の上、水位上昇を認識し迅速やかに避難行動の判断をすることが重要である。また、上流の危険度の高まりは、その後、下流に移動してくる傾向があるので、上流の危険度の高まりもあわせて確認することで、早めの避難の準備が図れる。

(キキクルの5段階の色が示す状況と求められる行動)

警戒レベル	危険度	求められる行動
5 (赤)	危険度が高い	緊急避難の危険度が高い。過去の重大な災害等発令時に記載する情報に基づいては、命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が、いまだ発生していない限り、命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。
4 (黄)	危険度が高い	命が危ないような災害が、いまだ発生していない限り、命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。
3 (黄)	危険度が高い	命が危ないような災害が、いまだ発生していない限り、命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。
2 (黄)	危険度が高い	命が危ないような災害が、いまだ発生していない限り、命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。
1 (黄)	危険度が高い	命が危ないような災害が、いまだ発生していない限り、命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。命が危ないような災害が発生している可能性がある。

気象情報

■ 特別警報・警報・注意報の発表から避難の判断、経過、防災上の留意点等を解説するために発表。

毎月、週毎のスケジュールに加え、消防団員として必要な消防訓練礼式、各種災害に係る解説等、多くの情報が載っており、サイズも制服の胸ポケットに収まるサイズと使いやすくなっております。